

池田高吹奏楽部が岩手県山田町で 5回目の「ダンプレ」公演

池田高校吹奏楽部（石本明生部長）の部員5人が8月6～9日に東日本大震災の被災地、岩手県山田町を訪れ、踊りながら演奏する「ダンス&プレー（ダンプレ）」で復興支援公演を行いました。

同部は、十勝ワインでつながりのある山田町を支援しようと、震災後の平成23年6月から道内各地でチャリティー公演を行い、これまで累計700万円以上の義援金を贈ってきました。山田町への訪問は、在学中



山田町の皆さんに元気と笑顔を届けようと道の駅おいすたで迫力あるダンプレを披露



山田町の佐藤町長に義援金を手渡す石本部長（右）

に行けるようにと平成24年から3年ごとに実施され、今回で5回目。町の子ども夢事業補助金を活用し、行われています。

一行は6日、花巻空港に到着し、山田町に現地入り。7日には、山田町役場を訪れ、石本部長（3年）が佐藤信逸町長に義援金約6万円を手渡し、佐藤町長から10年以上にわたる被災地支援に対する感謝の言葉が述べられるとともに歓迎されました。

役場では、当時の被災状況の説明を聞き、多くの質問をするなど精力的に震災学習に取り組んだ後、屋上から復興が進む町の状況を確認。また、御蔵山復興祈念公園の慰霊碑の前で黙とうをささげた後、浦の浜海水浴場でマリンスポーツを体験しました。

8日は、朝から道の駅おいすたで公演を行い、演奏後には集まった観客約40人から盛大な拍手が送られました。昼からは山田高校吹奏楽部と合流し、合同練習などで交流を深めた後、夕方から中央公民館でジョイントコンサートを開催。演奏やダンプレなど計13曲を披露し、最後の見送りの歌「君に出会えた幸せ」を終えると、大きな声援が送られ、集まった約150人の観客を魅了しました。

最終日の9日には、山田町を出発して花巻空港から帰路につきました。

訪問を終えた石本部長は「山田町では、復興したきれいな町の中に被災した建物が残っていたのが印象的でした。また、災害がいつ起きても対処できるようにすることが大切だと感じました」と話し、小西来夢さん（1年）は「多くの方が温かく応援してくれて、笑顔を届けたいと思っていたのに、逆に笑顔にさせてもらいました」と話していました。



道の駅おいすたに集まった観客から盛大な拍手



山田高校の吹奏楽部と中央公民館大ホールでジョイントコンサート



山田高校の吹奏楽部と合流し、公演前に合同練習



役場の屋上から見える山田市街地の復興状況



山田町の総務課の河村壽恵男防災対策推進員から、津波の恐ろしさや災害への心構えを学ぶ部員たち